

国指定知床鳥獣保護区

計画書

【存続期間の更新】

令和3年11月1日

環 境 省

1 国指定鳥獣保護区の概要

(1) 国指定鳥獣保護区の名称

知床鳥獣保護区

(2) 国指定鳥獣保護区の区域

北海道斜里郡斜里町所在国有林網走南部森林管理署 1310 林班ろ及びイからハマでの各小班、1311 林班、1313 林班ろ、イ及びロの各小班、1314 林班ろ、イ及びハの各小班、1317 から 1381 までの各林班の区域（1377 林班に隣接する斜里郡斜里町ウトロ東 428 の 1、429 及びウトロ西 179、201 の各番地を含む）、目梨郡羅臼町所在国有林根釧東部森林管理署 210 林班は及びイ 1 の各小班、214 林班い 1 及びイの各小班、217 林班イ小班、221 林班イ小班、222 林班イ小班、224 林班イ小班、225 林班イ、イ 1 及びロの各小班並びに 229 から 275 までの各林班の区域並びに幌別川以北の斜里郡斜里町の区域（国有林の区域を除く。）並びに目梨郡羅臼町所在町有林 1 から 16 林班の各小班、目梨郡羅臼町北浜 6 の 6、6 の 7、8 の各番地、目梨郡羅臼町湯の沢町 9 番地及び同 9 番地の北東端から目梨郡羅臼町所在国有林 232 林班の南西端の見通線から知床峠側の目梨郡羅臼町の区域（国有林の区域を除く）

(3) 国指定鳥獣保護区の存続期間

令和 3 年 11 月 1 日から令和 23 年 10 月 31 日まで（20 年間）

2 国指定鳥獣保護区の保護に関する指針

(1) 国指定鳥獣保護区の指定区分

希少鳥獣生息地の保護区

(2) 国指定鳥獣保護区の指定目的

当該区域を含む知床半島には多様な動物相が見られ、これまでに知床半島で記録された鳥類は、シマフクロウやオオワシなど 55 科 286 種、哺乳類は、ヒグマやキタキツネなど 10 科 38 種（海獣を除く）に及んでいる。知床半島の自然生態系は周辺海域を含めて原生的な様相を保って維持されていることから、特に生態系の頂点にいる猛禽類や、海岸及び沿岸部の海鳥類について多様性の高いものとなっている。

当該区域を含む知床半島においては、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年法律第 75 号）で国内希少野生動植物種に指定されている鳥類が 12 種確認されており、これら希少種の中でもシマフクロウの繁殖つがい数は我が国最大で、本種の日本における繁殖つがい数の 3 分の 1 以上が知床で繁殖している。

以上のとおり、当該区域は積極的に鳥獣の保護・増殖を図る必要があることから、

希少鳥獣生息地の保護区として、当該区域を鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号）第28条第1項に規定する鳥獣保護区に引き続き指定し、当該区域に生息する鳥獣及びその生息地の保護を図るものである。

（3）管理方針

- 1）環境省職員及び鳥獣保護区管理員等により鳥獣の生息状況等を把握するための調査を行う。
- 2）鳥獣保護区を適切に管理するため、環境省職員や鳥獣保護区管理員等による巡視に努めるとともに、希少種の保護増殖事業や傷病鳥獣救護、餌付けの防止、利用者への普及啓発等について、関係地方公共団体や関係機関等と連携を図り、その対応に当たる。

3 国指定鳥獣保護区の面積内訳

別表1のとおり。

4 当該区域における鳥獣の生息状況

（1）当該区域の概要

ア 国指定鳥獣保護区の位置

知床半島は、北海道の東北端から北北東に突き出した半島で、長さ約65km、幅約25kmであり、突端に近づくに従って狭くなっている。西側はオホーツク海に面し、東側は根室海峡を隔てて国後島に相對している。知床半島の中央山岳稜線を境に西側は斜里郡斜里町に、東側は目梨郡羅臼町に属している。

イ 地形、地質等

地質は、新第三紀層を第四紀洪積世の火山噴出物が覆い、紫蘇輝石安山岩の溶岩流及び同質の集塊岩・碎屑岩からなっている。

地形は、新第三系の山脈が基盤をなしており、その中軸沿いに噴出した多数の第四紀の火山活動によって現在の半島が形づくられている。中央山岳は、知床岳・知床硫黄山・羅臼岳・遠音別岳・海別岳などの第四紀火山が並んでいる。

海岸の地形は、海蝕による断崖や集塊岩の独立岩など複雑で変化に富んでおり、特に北部では山麓部が海蝕されて30mから200mほどの断崖をなしているところが多い。

ウ 植物相の概要

植物相は海岸線から半島の脊梁部まで極めて変化に富んでおり、海岸部においては、海岸植物群落が、また、森林帯にはエゾマツ・トドマツなどの針葉樹林やミズナラ・イタヤカエデなどの広葉樹林が、さらにこれらを越える地帯ではハイマツ帯から高山植物群落へと植相の変化が見られ、優れた森林生態系が維持されている。

エ 動物相の概要

北海道全域にかつて生息していた陸生哺乳類及び鳥類のうち多くの種が当該区域に生息している。特に鳥類は、現在北海道のごく限られた地域にしか生息していない希少種であるシマフクロウが繁殖している。

また、サケ科の魚類の自然遡上が多く見られるなど河川生態系も良好に維持され、食物連鎖の頂点に位置するシマフクロウ、オジロワシ、ヒグマは他の地域に比べ多くの生息を可能にしており、我が国でも極めて貴重で多様な地域である。

食物連鎖の高位に位置するこれら野生動物が生息することは、それらを支える生物相が豊富に残されていることを示している。

さらに、知床半島沿岸海域は、鳥類・魚類・海獣類が季節移動するコースとなっているため、渡りや回遊の時期には、多くの生物集団が集中することも当該区域の特性である。

(2) 生息する鳥獣類

ア 鳥類

別表 2 のとおり。

イ 獣類

別表 3 のとおり。

(3) 当該区域の農林水産物の被害状況

なし。

5 施設整備に関する事項

- | | | |
|---|-----------|--------------|
| ① | 鳥獣保護区用制札 | 25 本 |
| ② | 特別保護地区用制札 | 5 本 |
| ③ | 案内板 | 5 基 |
| ④ | 給水器 | — |
| ⑤ | 給餌台 | — |
| ⑥ | 巣箱 | 21 個 |
| ⑦ | その他 | 鳥獣保護区管理棟 1 棟 |

6 存続期間の更新の理由

当該鳥獣保護区は、希少鳥獣生息地の保護区として、シマフクロウやオジロワシを始めその地域に生息する希少鳥獣を保護するため昭和 57 年 3 月 31 日に指定され、その後、平成 13 年に一部区域を拡張する等、区域の変更を経て、現在に至っている。

当該区域は現在もシマフクロウ等の希少鳥獣をはじめとする鳥獣の良好な生息地になっており、引き続き鳥獣保護区に指定する必要がある。

7 参考事項

(1) 当初指定

昭和 57 年 3 月 24 日（昭和 57 年 3 月 24 日 環境庁告示第 32 号）

(2) 経緯

平成 13 年 11 月 1 日（平成 13 年 10 月 29 日 環境庁告示第 58 号）

存続期間の更新、拡張

別紙1 国設知床鳥獣保護区の面積内訳表

◆形態別面積内訳

	鳥獣保護区			特別保護地区			特別保護指定区域		
	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積
総面積	44,053 ha	0 ha	44,011 ha	23,630 ha	97 ha	23,736 ha	1,156 ha	0 ha	1,169 ha
├ 林野	43,883 ha	ha	43,727 ha	23,620 ha	ha	23,633 ha	1,156 ha	ha	1,169 ha
├ 農耕地	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 公有水面	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
└ その他	170 ha	ha	284 ha	10 ha	97 ha	103 ha	0 ha	ha	0 ha

◆所有別面積内訳

	鳥獣保護区			特別保護地区			特別保護指定区域		
	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積
国有地	40,712 ha	0 ha	40,709 ha	22,407 ha	97 ha	22,476 ha	0 ha	ha	0 ha
├ 国有林	40,629 ha	0 ha	40,588 ha	22,377 ha	0 ha	22,378 ha	— ha	ha	— ha
├ 林野庁所管	40,629 ha	0 ha	40,588 ha	22,377 ha	0 ha	22,378 ha	— ha	ha	— ha
├ 制限林	21,252 ha	0 ha	27,628 ha	8,363 ha	0 ha	11,207 ha	— ha	ha	— ha
├ 保安林	21,252 ha	0 ha	27,627 ha	8,363 ha	0 ha	11,207 ha	— ha	ha	— ha
├ 砂防指定地	— ha	ha	※1 25 ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ その他	— ha	ha	※2 1 ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 普通林	19,377 ha	0 ha	12,959 ha	14,014 ha	0 ha	11,171 ha	— ha	ha	— ha
├ 文部科学省所管	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ ○○省所管	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 国有林以外の国有地	83 ha	0 ha	121 ha	30 ha	97 ha	98 ha	— ha	ha	— ha
├ 財務省所管	74 ha	0 ha	3 ha	29 ha	0 ha	0 ha	— ha	ha	— ha
├ 国土交通省所管	8 ha	0 ha	8 ha	1 ha	0 ha	1 ha	— ha	ha	— ha
├ 農林水産省所管	1 ha	0 ha	2 ha	0 ha	0 ha	0 ha	— ha	ha	— ha
├ 環境省所管	— ha	ha	108 ha	— ha	97 ha	97 ha	— ha	ha	— ha
地方公共団体所有地	3,151 ha	0 ha	3,275 ha	1,213 ha	0 ha	1,260 ha	1,156 ha	0 ha	1,169 ha
├ 都道府県所有地	1,238 ha	0 ha	1,234 ha	1,162 ha	0 ha	1,186 ha	1,156 ha	0 ha	1,169 ha
├ 制限林地	91 ha	ha	91 ha	91 ha	ha	91 ha	91 ha	ha	91 ha
├ 保安林	91 ha	ha	91 ha	91 ha	ha	91 ha	91 ha	ha	91 ha
├ 砂防指定地	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ その他	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 普通林地	1,147 ha	ha	1,108 ha	1,071 ha	ha	1,095 ha	1,065 ha	ha	1,078 ha
├ その他	— ha	ha	35 ha	— ha	ha	0 ha	— ha	ha	— ha
├ 市町村所有地等	1,913 ha	0 ha	2,041 ha	51 ha	0 ha	74 ha	— ha	0 ha	— ha
├ 制限林地	979 ha	ha	991 ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 保安林	979 ha	ha	991 ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 砂防指定地	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ その他	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 普通林地	934 ha	ha	939 ha	51 ha	ha	69 ha	— ha	ha	— ha
├ その他	— ha	ha	111 ha	— ha	ha	5 ha	— ha	ha	— ha
私有地等	190 ha	-97 ha	14 ha	10 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha	0 ha
├ 制限林地	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 保安林	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 砂防指定地	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ その他	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 普通林地	190 ha	-69 ha	10 ha	10 ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ その他	— ha	-28 ha	4 ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
公有水面	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
その他	— ha	ha	13 ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
計	44,053 ha	-97 ha	44,011 ha	23,630 ha	97 ha	23,736 ha	1,156 ha	0 ha	1,169 ha

※1 保安林との重複面積は23.63ha。ただし、保安林と重複する部分の面積は含まず。

※2 保安林との重複面積は0.99ha。ただし、保安林と重複する部分の面積は含まず。

◆他法令による規制区域との重複

	鳥獣保護区			特別保護地区			特別保護指定区域		
	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積	既存面積	拡大(縮小)面積	修正後の面積
自然環境保全法による地域 (名称:○○自然環境保全地域)	— ha	0 ha	0 ha	— ha	0 ha	0 ha	— ha	0 ha	0 ha
├ 特別地区	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
├ 普通地区	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha
自然公園法による地域 (名称:○○公園)	38,328 ha	0 ha	38,621 ha	23,627 ha	0 ha	23,736 ha	1,156 ha	ha	1,169 ha
├ 特別保護地区	23,518 ha	ha	23,765 ha	23,332 ha	ha	23,442 ha	1,156 ha	ha	1,169 ha
├ 特別地域	14,810 ha	ha	14,856 ha	295 ha	ha	294 ha	— ha	— ha	— ha
├ 普通地域	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	— ha	— ha
文化財保護法による地域 (名称:国(県)指定天然記念物 ○○自生地)	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha	— ha	ha	— ha

※拡大・縮小以外の面積変動は、岩礁の国有地編入・所管替え・面積精査・面積計算方法の見直しによるもの。

ア 鳥類

(別表2-1) 国指定知床鳥獣保護区

目	科	種または亜種	種の指定等	備考
アビ目	アビ科	アビ		旅鳥または冬鳥
		オオハム		旅鳥または冬鳥
		シロエリオオハム		旅鳥または冬鳥
		ハシジロアビ		数少ない冬鳥または旅鳥
カイツブリ目	カイツブリ科	○ カイツブリ		夏鳥
		ハジロカイツブリ		冬鳥
		ミミカイツブリ		冬鳥
		アカエリカイツブリ		夏鳥
		カンムリカイツブリ		旅鳥または冬鳥
ミズナギドリ目	アホウドリ科	□ アホウドリ	国特天・VU	不明
		□ コアホウドリ		周年
		□▲クロアシアホウドリ		不明
	ミズナギドリ科	フルマカモメ		周年
		□ ミナミオナガミズナギドリ		不明
		アカアシミズナギドリ		5～8月頃に出現する
		ハイイロミズナギドリ		5～10月頃に出現する
	ウミツバメ科	ハシボソミズナギドリ		春から夏
		ハイイロウミツバメ		冬鳥
		コシジロウミツバメ		夏鳥
ペリカン目	カツオドリ科	□ アカアシカツオドリ		不明
	ウ科	○ ウミウ		周年
		○ ヒメウ		周年
		チシマウガラス	CR	周年
コウノトリ目	サギ科	□ ヨシゴイ		稀な夏鳥
		ミゾゴイ	VU	夏鳥
		□ ゴイサギ		ごく少ない夏鳥
		アカガシラサギ		ごく少ない夏鳥
		アマサギ		夏鳥
		■ ダイサギ		夏鳥
		チュウサギ	NT	稀な夏鳥
		コサギ		稀な夏鳥
		○ アオサギ		夏鳥
		カモ目	カモ科	コクガン
マガン	国天・NT			旅鳥
ヒシクイ	国天			旅鳥
コブハクチョウ				周年
□ コクチョウ				不明
オオハクチョウ				旅鳥または冬鳥
コハクチョウ				旅鳥または冬鳥
○ オシドリ	DD			夏鳥
○ マガモ				周年
○ カルガモ				周年
コガモ				冬鳥
トモエガモ	VU			冬鳥
ヨシガモ				夏鳥
オカヨシガモ				旅鳥
ヒドリガモ				旅鳥
オナガガモ				冬鳥または旅鳥
ハシビロガモ				冬鳥または旅鳥
ホシハジロ				冬鳥または旅鳥
クビワキンクロ				冬鳥または旅鳥
キンクロハジロ				旅鳥または冬鳥

ア 鳥類

(別表2-2) 国指定知床鳥獣保護区

目	科	種または亜種	種の指定等	備考
カモ目	カモ科	○ スズガモ		旅鳥または冬鳥
		○ クロガモ		旅鳥または冬鳥
		ビロードキンクロ		冬鳥
		○ シノリガモ		冬鳥または周年
		コオリガモ		冬鳥
		○ ホオジロガモ		冬鳥
		ミコアイサ		冬鳥
		ウミアイサ		冬鳥
		○ カワアイサ		周年
		タカ目	ミサゴ科	ミサゴ
	タカ科	トビ		周年
		○ オジロワシ	国天・国内希少・VU	周年または冬鳥
		○ オオワシ	国天・国内希少・VU	冬鳥
		オオタカ	NT	周年
		ツミ		夏鳥
		ハイタカ	NT	周年
		ケアシノスリ		数少ない冬鳥
		ノスリ		周年
		クマタカ	国内希少・EN	周年
		カラフトワシ		稀な冬鳥
		□ イヌワシ	国天・国内希少・EN	周年またはごく稀な冬鳥
		ハイイロチュウヒ		冬鳥または旅鳥
		チュウヒ	国内希少・EN	夏鳥または周年
	ハヤブサ科	シロハヤブサ		冬鳥
		ハヤブサ	国内希少・VU	周年
		チゴハヤブサ		夏鳥
		コチョウゲンボウ		冬鳥
		チョウゲンボウ		冬鳥
キジ目	ライチョウ科	エゾライチョウ	DD	周年
	キジ科	ウズラ	VU	夏鳥
		キジ		周年
ツル目	ツル科	◎ クロヅル	DD	迷鳥
		□ カナダヅル		迷鳥
		タンチョウ	国特天・国内希少・VU	周年
	クイナ科	クイナ		夏鳥
		ヒメクイナ		夏鳥
		バン		夏鳥
		ツルクイナ		迷鳥
		オオバン		夏鳥
チドリ目	ミヤコドリ科	□ ミヤコドリ		数少ない旅鳥
	チドリ科	コチドリ		夏鳥
		※ イカルチドリ		夏鳥
		シロチドリ	VU	旅鳥
		メダイチドリ	国際希少	旅鳥
		ムナグロ		旅鳥
		ダイゼン		旅鳥
		シギ科	キョウジョシギ	
		トウネン		旅鳥
		ヒバリシギ		旅鳥
		ハマシギ	NT	旅鳥
		オバシギ	国際希少	旅鳥
		ミュビシギ		旅鳥

ア 鳥類

(別表2-3) 国指定知床鳥獣保護区

目	科	種または亜種	種の指定等	備考
チドリ目	シギ科	<input type="checkbox"/> エリマキシギ		旅鳥、一部越冬
		キリアイ		旅鳥
		ツルシギ	VU	旅鳥
		アオアシシギ	VU	夏鳥
		<input type="checkbox"/> クサシギ		旅鳥
		タカブシギ	VU	旅鳥
		キアシシギ		旅鳥
		イソシギ		夏鳥
		チュウシャクシギ		旅鳥
		ヤマシギ		夏鳥
		タシギ		旅鳥
		ハリオシギ		夏鳥
		チュウジシギ		不明
		<input type="checkbox"/> オオジシギ	NT	夏鳥
		アオシギ		冬鳥
	セイタカシギ科	<u>セイタカシギ</u>	VU	旅鳥
	ヒレアシシギ科	ハイロヒレアシシギ		旅鳥
		アカエリヒレアシシギ		旅鳥
	トウゾクカモメ科	<input type="checkbox"/> オオトウゾクカモメ		周年
		トウゾクカモメ		不明
		クロトウゾクカモメ		旅鳥または夏鳥
		<input type="checkbox"/> シロハラトウゾクカモメ		旅鳥または夏鳥
	カモメ科	<input type="checkbox"/> ユリカモメ		旅鳥
		ホイグリンカモメ		旅鳥
		セグロカモメ		冬鳥
		<input type="checkbox"/> オオセグロカモメ		周年
		ワシカモメ		冬鳥
		<input type="checkbox"/> シロカモメ		冬鳥
		アイスランドカモメ		ごく稀な冬鳥
		カモメ		旅鳥
		<input type="checkbox"/> ウミネコ		夏鳥
ミツユビカモメ			冬鳥	
ヒメクビワカモメ			数少ない冬鳥	
ゾウゲカモメ			ごく稀な冬鳥	
ハジロクロハラアジサシ			旅鳥	
アジサシ			旅鳥	
ウミスズメ科	<u>ウミガラス</u>	国内希少・CR	周年	
	ハシブトウミガラス		冬鳥	
	ウミバト		数少ない冬鳥	
	<input type="checkbox"/> ケイマフリ	VU	周年	
	マダラウミスズメ	DD	冬鳥または周年	
	<input type="checkbox"/> コバシウミスズメ		不明	
	<u>ウミスズメ</u>	CR	周年	
	カンムリウミスズメ		迷鳥	
	エトロフウミスズメ		冬鳥	
	コウミスズメ		冬鳥	
	ウミオウム		稀な冬鳥	
	ウトウ		周年	
	ツノメドリ		数少ない冬鳥	
	<u>エトピリカ</u>	国内希少・CR	周年	
	ハト目	ハト科	<input type="checkbox"/> カワラバト(ドバト)	
<input type="checkbox"/> キジバト				夏鳥

ア 鳥類

(別表2-4) 国指定知床鳥獣保護区

目	科	種または亜種	種の指定等	備考
ハト目	ハト科	アオバト		夏鳥
カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ		夏鳥
		カッコウ		夏鳥
		○ ツツドリ		夏鳥
		○ ホトギス		夏鳥
フクロウ目	フクロウ科	シロフクロウ		稀な冬鳥
		ワシミミズク	国内希少・CR	周年
		シマフクロウ	国天・国内希少・CR	周年
		トラフズク		夏鳥
		コミミズク		冬鳥
		コノハズク		夏鳥
		オオコノハズク		周年
		キンメフクロウ	CR	不明
		アオバズク		夏鳥
		フクロウ		周年
ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	NT	夏鳥
アマツバメ目	アマツバメ科	ハリオアマツバメ		夏鳥
		○ アマツバメ		夏鳥
ブッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ		夏鳥
		アカショウビン		夏鳥
		カワセミ		夏鳥
	ヤツガシラ科	ヤツガシラ		数少ない旅鳥
キツツキ目	キツツキ科	アリスイ		夏鳥
		ヤマゲラ		周年
		クマゲラ	国天・VU	周年
		○ アカゲラ		周年
		オオアカゲラ		周年
		コアカゲラ		周年
		○ コゲラ		周年
スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ		夏鳥
	ツバメ科	ショウドウツバメ		夏鳥
		ツバメ		夏鳥
		コシアカツバメ		夏鳥
		○ イワツバメ		夏鳥
	セキレイ科	ツメナガセキレイ		夏鳥
		○ キセキレイ		夏鳥
		○ ハクセキレイ		夏鳥
		セグロセキレイ		夏鳥
		○ ビンズイ		夏鳥
		タヒバリ		旅鳥
	サンショウクイ科	□▽ サンショウクイ		数少ない旅鳥
	ヒヨドリ科	○ ヒヨドリ		周年
	モズ科	モズ		夏鳥
		アカモズ	EN	夏鳥
		オオモズ		冬鳥
	レンジャク科	キレンジャク		旅鳥または冬鳥
		ヒレンジャク		旅鳥または冬鳥
	カワガラス科	○ カワガラス		周年
	ミソサザイ科	ミソサザイ		周年
イワヒバリ科	カヤクグリ		夏鳥	
ツグミ科	コマドリ		夏鳥	
	ノゴマ		夏鳥	

ア 鳥類

(別表2-5) 国指定知床鳥獣保護区

目	科	種または亜種	種の指定等	備考	
スズメ目	ツグミ科	コルリ		夏鳥	
		○ ルリビタキ		夏鳥	
		クロジョウビタキ		迷鳥	
		ジョウビタキ		旅鳥	
		○ ノビタキ		夏鳥	
		○ イソヒヨドリ		夏鳥	
		○ トラツグミ		夏鳥	
		マミジロ		夏鳥	
		クロツグミ		夏鳥	
		○ アカハラ		夏鳥	
		シロハラ		旅鳥	
		マミチャジナイ		旅鳥	
		ツグミ		冬鳥または旅鳥	
		ノハラツグミ		迷鳥	
		ウグイス科	ヤブサメ		夏鳥
			○ ウグイス		夏鳥
エゾセンニュウ			夏鳥		
シマセンニュウ			夏鳥		
マキノセンニュウ	NT		夏鳥		
コヨシキリ			夏鳥		
オオヨシキリ			夏鳥		
オオムシクイ	DD		夏鳥		
エゾムシクイ			夏鳥		
○ センダイムシクイ			夏鳥		
○ キクイタダキ		周年			
ヒタキ科	○ キビタキ		夏鳥		
	オオルリ		夏鳥		
	サメビタキ		夏鳥		
	エゾビタキ		夏鳥		
	コサメビタキ		夏鳥		
エナガ科	○ エナガ		周年		
シジュウカラ科	○ ハシブトガラ		周年		
	コガラ		周年		
	○ ヒガラ		周年		
	ヤマガラ		周年		
	○ シジュウカラ		周年		
ゴジュウカラ科	○ ゴジュウカラ		周年		
キバシリ科	キバシリ		周年		
メジロ科	メジロ		夏鳥または周年		
ホオジロ科	シラガホオジロ		数少ない冬鳥		
	○ ホオジロ		夏鳥		
	ホオアカ		夏鳥		
	□ キマユホオジロ		数少ない旅鳥		
	カシラダカ		旅鳥		
	ミヤマホオジロ		冬鳥		
	シマアオジ	国内希少・CR	夏鳥		
	○ アオジ		夏鳥		
	クロジ		夏鳥		
	オオジュリン		夏鳥		
	ツメナガホオジロ		夏鳥		
	ユキホオジロ		冬鳥		

ア 鳥類 (別表2-6) 国指定知床鳥獣保護区

目	科	種または亜種	種の指定等	備考	
スズメ目	アトリ科	アトリ		冬鳥または旅鳥	
		○ カワラヒワ		夏鳥	
		マヒワ		周年	
		ベニヒワ		冬鳥	
		□ コベニヒワ		稀な冬鳥	
		ハギマシコ		冬鳥または漂鳥	
		ギンザンマシコ		周年または冬鳥	
		イスカ		周年	
		オオマシコ		冬鳥	
		ナキイスカ		稀な冬鳥	
		ベニマシコ		夏鳥	
		○ ウソ		周年	
		イカル		夏鳥	
		シメ		夏鳥	
		ハタオリドリ科	ニューナイスズメ		夏鳥
			○ スズメ		周年
		ムクドリ科	コムクドリ		夏鳥
			ホシムクドリ		稀な旅鳥もしくは冬鳥
			ムクドリ		周年
		カラス科	○ カケス		周年
	カササギ		周年		
	ホシガラス		周年		
	□ コクマルガラス		迷鳥もしくは稀な旅鳥		
	□ ミヤマガラス		冬鳥		
	○ ハシボソガラス		周年		
	○ ハシブトガラス		周年		
	ワタリガラス		冬鳥		
合計(種)		286			

1. 鳥類の目・科・種(和名)及び配列は、「日本野生鳥獣目録(平成14年7月、環境省自然環境局野生生物課)」に準拠するとともに、基本的には以下の資料を参考にした。

「内田暁友編(2010)データブック知床・2010」斜里町立知床博物館→本資料のみ掲載種は※を付す

2. 種の指定等の要件は次の通りである。

国天：国指定天然記念物

特天：国指定特別天然記念物

環境省レッドリスト2020

CR：絶滅危惧種ⅠA類、EN：絶滅危惧種ⅠB類、VU：絶滅危惧種Ⅱ類、NT：準絶滅危惧種、

DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

国内希少：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国内希少野生動植物種

国際希少：絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律による国際希少野生動植物種

3. アンダーラインは鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第1章第2条第4項により

国際的又は全国的に保護を図る必要があるものとして環境省令で定める鳥獣。

4. ○印は当地域で一般的に見られる鳥類。

(引用：国設知床鳥獣保護区 設定計画書 平成13年10月2日 環境省)

5. □印は以下のリストに記載の種

「知床博物館HP 鳥類リスト(<http://shiretoko-museum.mydns.jp/>)」

6. ▲印は以下の資料に記載の種

「知床エゾシカヒグマWG 令和元年度第2回会議 2019(R01)年度 植生モニタリング実施結果(環境省)(速報)」

7. ■印は以下の資料に記載の種

「高橋佑太郎(2014)知床世界遺産地域における鳥類相と植生の変化～1980年代と2010年代を比較して～」

学位論文梗概集 2014. 筑波大学

8. ▽印は以下の資料に記載の種

「河野通治・平井泰(2008)知床半島におけるサンショウウイ *Pericrocotus divaricatus divaricatus* の記録. 知床博物館研報29」

「藤川友敬・柴田春馬(2015)ホシムクドリ *Sturnus vulgaris* の知床半島における初記録. 知床博物館研報37」

9. 備考：北海道における周年、夏鳥、冬鳥、旅鳥及び迷鳥の別を記載。

(引用：新訂 北海道野鳥図鑑 亜璃西社 2013年3月28日第2版発行)

イ 獣類		(別表2-7) 国指定知床鳥獣保護区		
目	科	種または亜種	種の指定等	
モグラ目	トガリネズミ科	<input type="checkbox"/> トウキョウトガリネズミ	VU	
		<input type="checkbox"/> ヒメトガリネズミ		
		<input type="checkbox"/> エゾトガリネズミ		
		<input type="checkbox"/> オオアシトガリネズミ		
コウモリ目	ヒナコウモリ科	<u>ヒメホオヒゲコウモリ</u>		
		ウスリーホオヒゲコウモリ	VU	
		モモジロコウモリ		
		ドーベントンコウモリ		
		カグヤコウモリ		
		<u>キタクビワコウモリ(ヒメホリカワコウモリ)</u>		
		ヤマコウモリ	VU	
		ウサギコウモリ		
		<u>チチブコウモリ</u>		
		<input type="checkbox"/> テングコウモリ		
		コテングコウモリ		
ネコ目	イヌ科	エゾタヌキ		
		<input checked="" type="radio"/> キタキツネ		
	イタチ科	エゾクロテン	NT	
		ホンドイタチ(ニホンイタチ)		
		ニホンイイズナ(キタイイズナ)		
		エゾオコジョ	NT	
			ミンク(アメリカミンク)	特定外来
		ラッコ		
	アライグマ科	アライグマ	特定外来	
	クマ科	<input checked="" type="radio"/> エゾヒグマ(ヒグマ)		
ウシ目	シカ科	<input checked="" type="radio"/> エゾシカ		
ネズミ目	リス科	エゾリス		
		<input checked="" type="radio"/> エゾシマリス	DD	
			エゾモモンガ	
	ネズミ科	<input type="checkbox"/> エゾヤチネズミ		
		<input type="checkbox"/> ミカドネズミ		
		<input type="checkbox"/> カラフトアカネズミ		
		<input type="checkbox"/> エゾアカネズミ		
		<input type="checkbox"/> ヒメネズミ		
		<input type="checkbox"/> ドブネズミ		
		<input type="checkbox"/> クマネズミ		
<input type="checkbox"/> ハツカネズミ				
ウサギ目	ウサギ科	エゾユキウサギ		
合計(種)		38		

1. 獣類の目・科・種(和名)及び配列は、「日本野生鳥獣目録(平成14年7月、環境省自然環境局野生生物課)」に準拠するとともに、基本的には以下の資料を参考にした。

「内田暁友編(2010)データブック知床・2010」斜里町立知床博物館

「村上隆広・近藤憲久(2018)北海道の哺乳類」知床博物館協力会

「近藤憲久(2010)コウモリ類の現状と課題」知床の自然保護・斜里町立知床博物館

2. 種の指定等の要件は次の通りである。

環境省レッドリスト2020

CR: 絶滅危惧種 I A類、EN: 絶滅危惧種 I B類、VU: 絶滅危惧種 II 類、NT: 準絶滅危惧種、

DD: 情報不足、LP: 絶滅のおそれのある地域個体群

特定外来: 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律による特定外来生物

3. アンダーラインは鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第1章第2条第4項により国際的又は全国的に保護を図る必要があるものとして環境省令で定める鳥獣。

4. 印は当地域で一般的に見られる鳥類。

(引用: 国設知床鳥獣保護区 設定計画書 平成13年10月2日 環境省)

5. 印は以下のリストに記載の種

「知床博物館HP 哺乳類リスト(<http://shiretoko-museum.mydns.jp/>)」

6. 備考: 以下の文献を参考に主な生息環境を記載(コウモリ目については主なねぐらを記載)。

(阿部永[監修] 日本の哺乳類 1994年 東海大学出版会)

(大泰司紀之・中川元編著 知床の動物 原生的自然環境下の脊椎動物群集とその保護 1988年 北海道大学図書刊行会)